

これまでの計画の経緯と検討

佐世保市の総合計画，地方創生による人口予測：

石木ダムで新規の水資源開発している余裕はない（水道管老朽化，事業費増額）

2012年計画は誤り，2020年計画でもムリな操作が見られる，2024年12月は？

佐世保市第7次総合計画（R2（2020年）～R9（2027年）

佐世保市水道事業経営戦略（R3，2021年3月）

佐世保市水道ビジョン2020（2020～29）

佐世保市水道施設整備事業再評価書（2020年）

佐世保市上下水道事業経営検討委員会石木ダム建設事業再評価（2024年12月21日）

2020 年12 月 厚生労働省医薬・生活衛生局水道課への質問
（厚生労働省医薬・生活衛生局水道課への質問（2020 年3 月23 日）への回答
（2020 年4月2日）に関する再質問）

福岡高裁・富樫意見書（2019年6月）旧計画は5年後に見直し、それにも大きな問題
（長良川河口堰問題：河川法改正（流域委員会）、公共事業見直し）

佐世保市人口ビジョン（2016年）

佐世保市水道局H24（2012）年度再評価 水需要予測（第9期拡張事業）



2024年12月資料＋補足説明

高裁判決の元になった計画がなぜひどく間違っていたのか、事後評価がまず必要！

□2024年資料でも、まだ大きな問題点がある

＊長期的人口の減少と流出（25年は日本一）（岐阜県自治体の地方創生総合戦略）

＊1人当たり原単位：約200→213ℓ/日＝水道料金支払いの増加

《福岡市は約200ℓ/日で節水している》

＊有収率（漏水等との差）：90%を改善しない 基幹管路の更新等

＊負荷率（日最大と年平均の比）：例外的な82.8%を採用，
通常年だと過大な給水量

⇒有収水量の過大推計，料金収入にズレがあるので，経営の赤字を招く

□全国的な水道事業，ダム事業の制度，常識とはかけ離れている 住民参加の保障

＊慣行水利権（相浦川の自流に歴史的に確保）を「不安定水利」として除外

→伊藤さんに（解釈が誤り）

＊佐世保市民の水道料金支払い増・値上げ，財政負担の増加してまで
川棚町の川原の人たちや環境に犠牲を強い続けるのか？

全国の水道事業と同じ課題がある

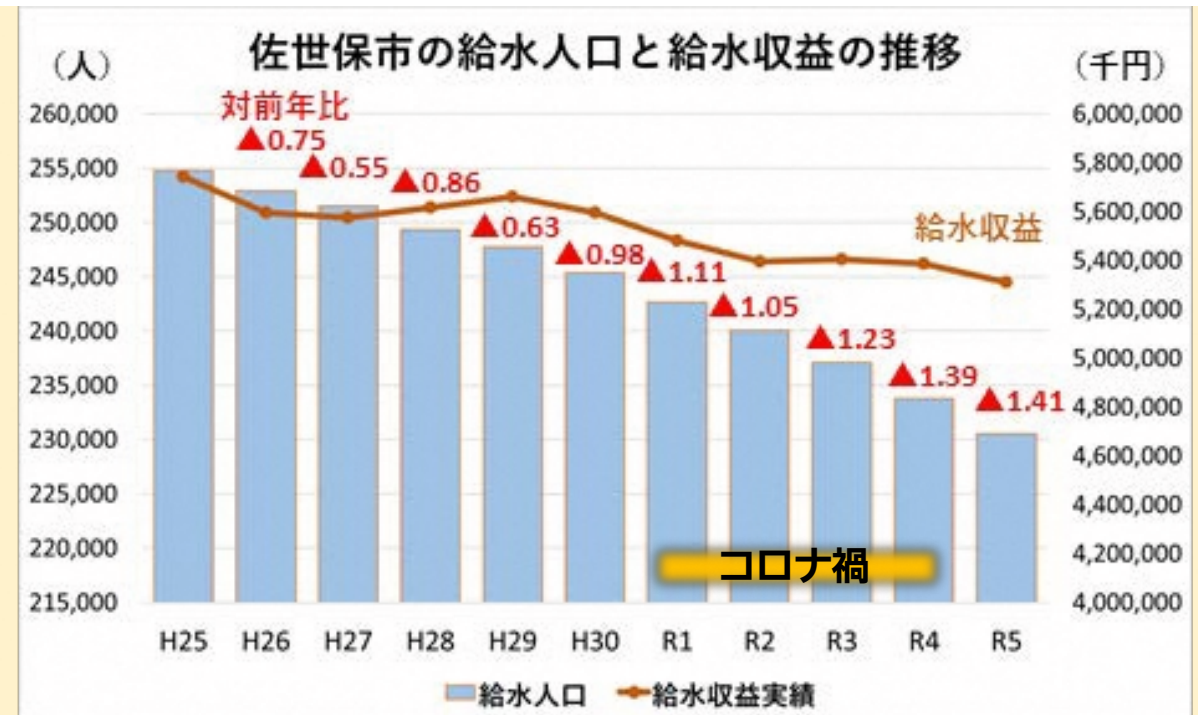
経営戦略策定の背景となる3つ課題

(本編 37P~41P)

本市は人口減少が**加速**

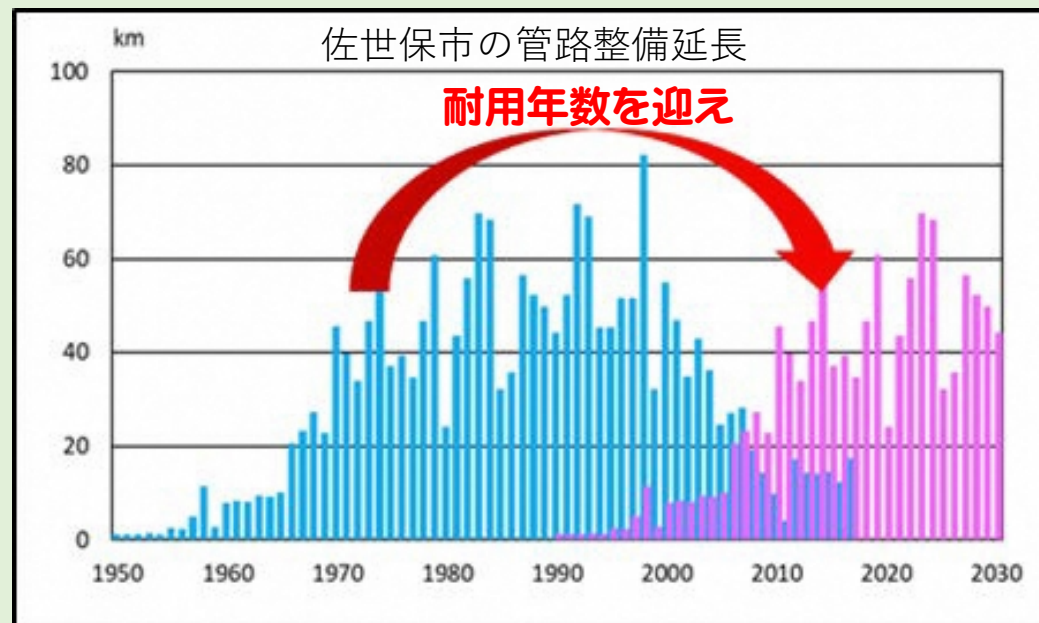
コロナ禍以降**減少率が拡大**
⇒ 収益減少が加速

人口（収益）の自然増が期待できない中で、将来の事業経営をどうするべきか？



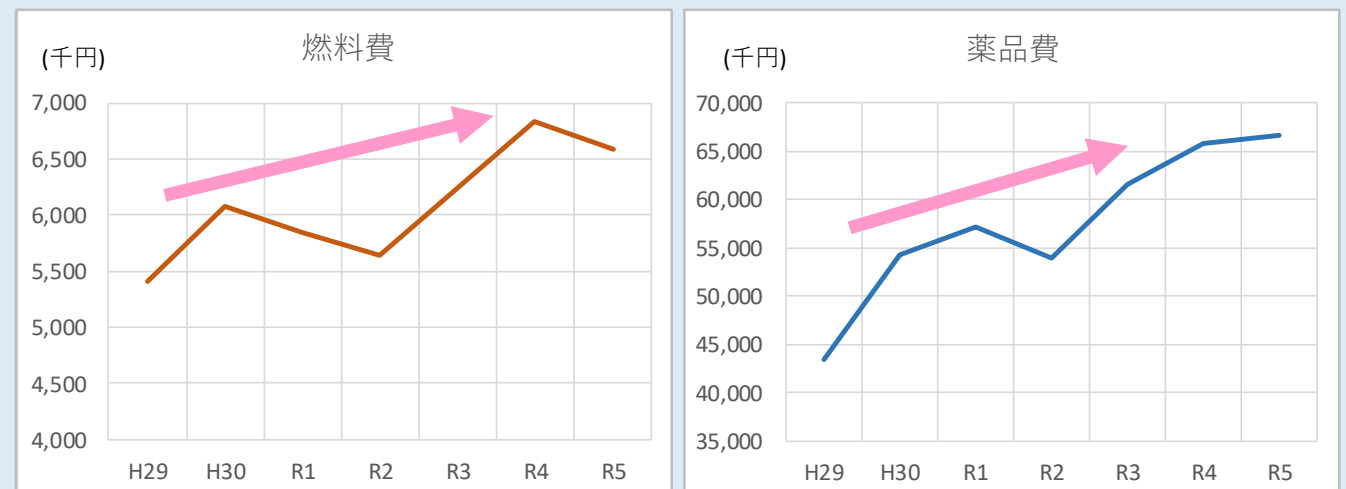
一斉更新時期が**到来**

集中整備の施設が
今、更新時期を迎えている



物価の**上昇**

近年の物価高騰が
経営悪化に拍車をかけている



佐世保水道経営検討委員会 第3回財政計画についての質問（宮本→富樫）

- ・ 今後10年間の事業費について、更新需要削減、リスクマネジメント、安全確保、その他の具体的な内容と内容ごとの事業費を示してください。

富樫：これはありますが、**水源確保（石木ダム、321億円）は不要、安全確保（老朽化対策）の407億円は巨額過ぎます。管路の更新（有収率のアップ、これまで怠っていた）だけに限定すべきで、他の自治体ではそうしています。老朽化・耐震対策だけなら、15～20%の料金値上げは全国で起こっていますが、**

2. 投資計画(全体)

(資料編 P23-24)

水道供給の持続を図るための 当初10年の投資計画 事業費の内訳

主に水源確保にかかる事業	321億円
主に更新需要の削減にかかる事業	136億円
主にリスクマネジメントにかかる事業	41億円
主に安全確保にかかる事業	407億円
その他	54億円

当初10年間 計 959億円
(20年間 1,676億円)



経営方針との整合性



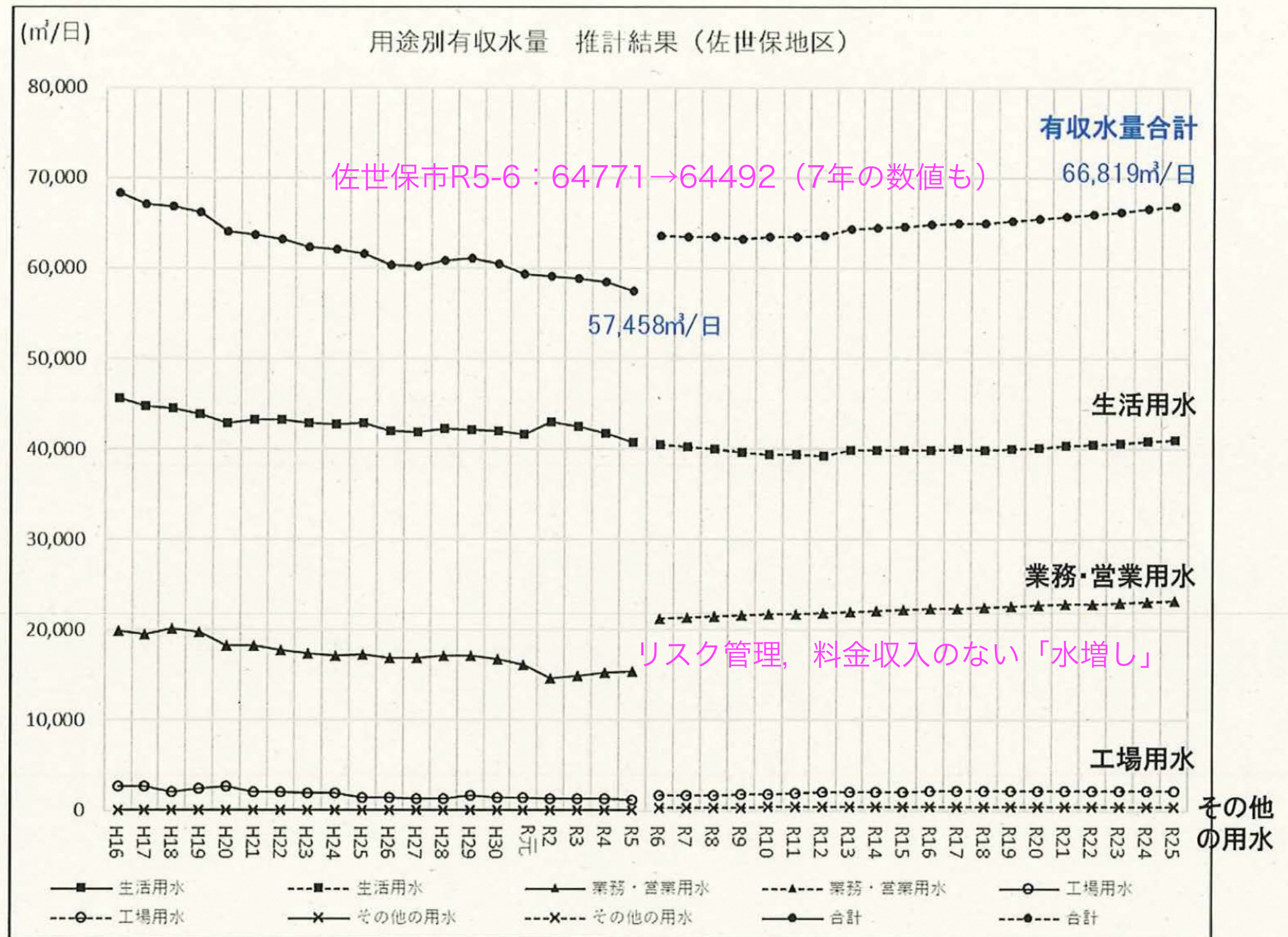
経営方針 20年間で1,540億円

- 当初10年に水源確保関連が集中(早期完成)
- 石木ダム事業費の増額 など
(結果 … 20年間 1,676億円)

水道供給の持続を図るため
施設更新をしっかりと進めることが大前提

先送りや圧縮の余地がない事業に絞り
込んだ10年間の事業費と考えています。

(6) 有収水量の推計結果(各用途の合計)



佐世保地区の有収水量合計は、潜在的需要(リスク管理水量)を含めて上グラフのとおりとなります。

推計値は、生活用水・工場用水が横ばい程度、業務営業用水は小口需要の今後の回復及びハウステンボスの成長戦略により緩やかな増加傾向となっています。

長崎市上下水道事業マスタープラン2025

-信頼とともに持続可能な未来をつくる上下水道-

愛知県、名古屋市の水道需要も分析してます

令和7年度～令和16年度
(2025年度～2034年度)

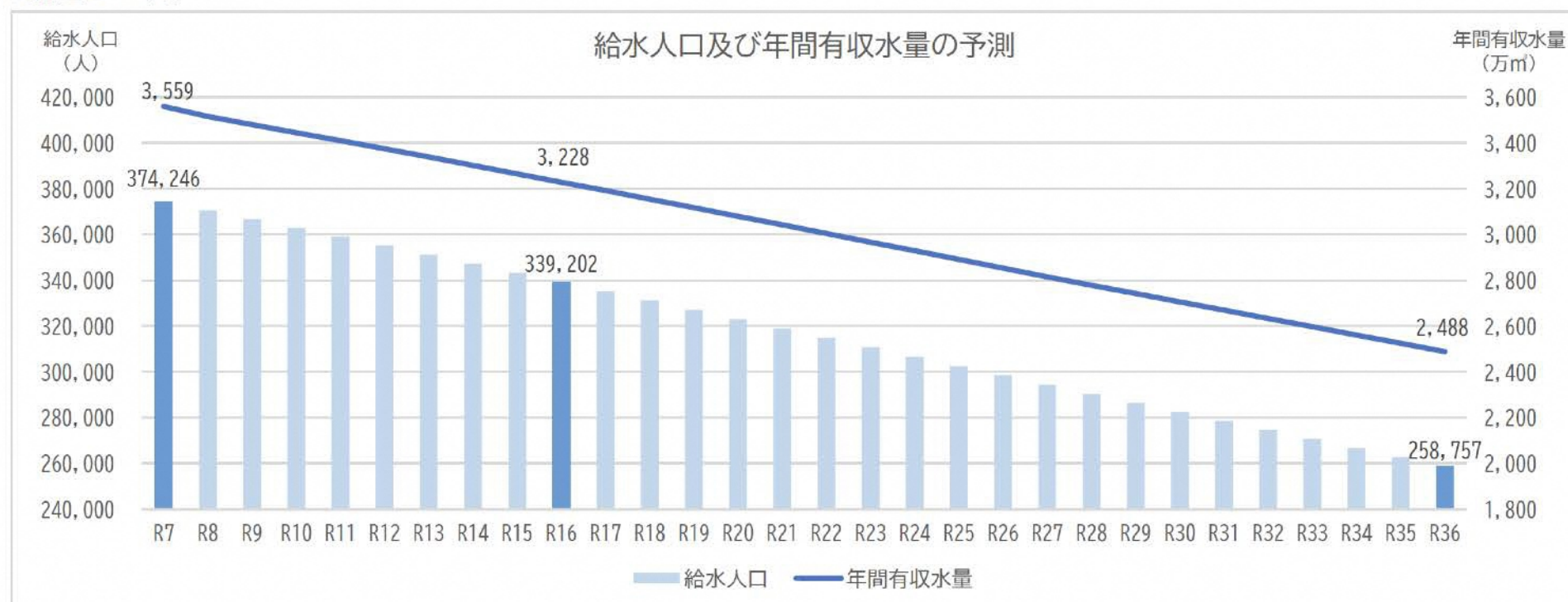
第3章 将来の事業環境

1 給水人口と水需要の予測

令和5年度における本市の給水人口は381,512人、有収水量は3,627万 m^3 となっています。

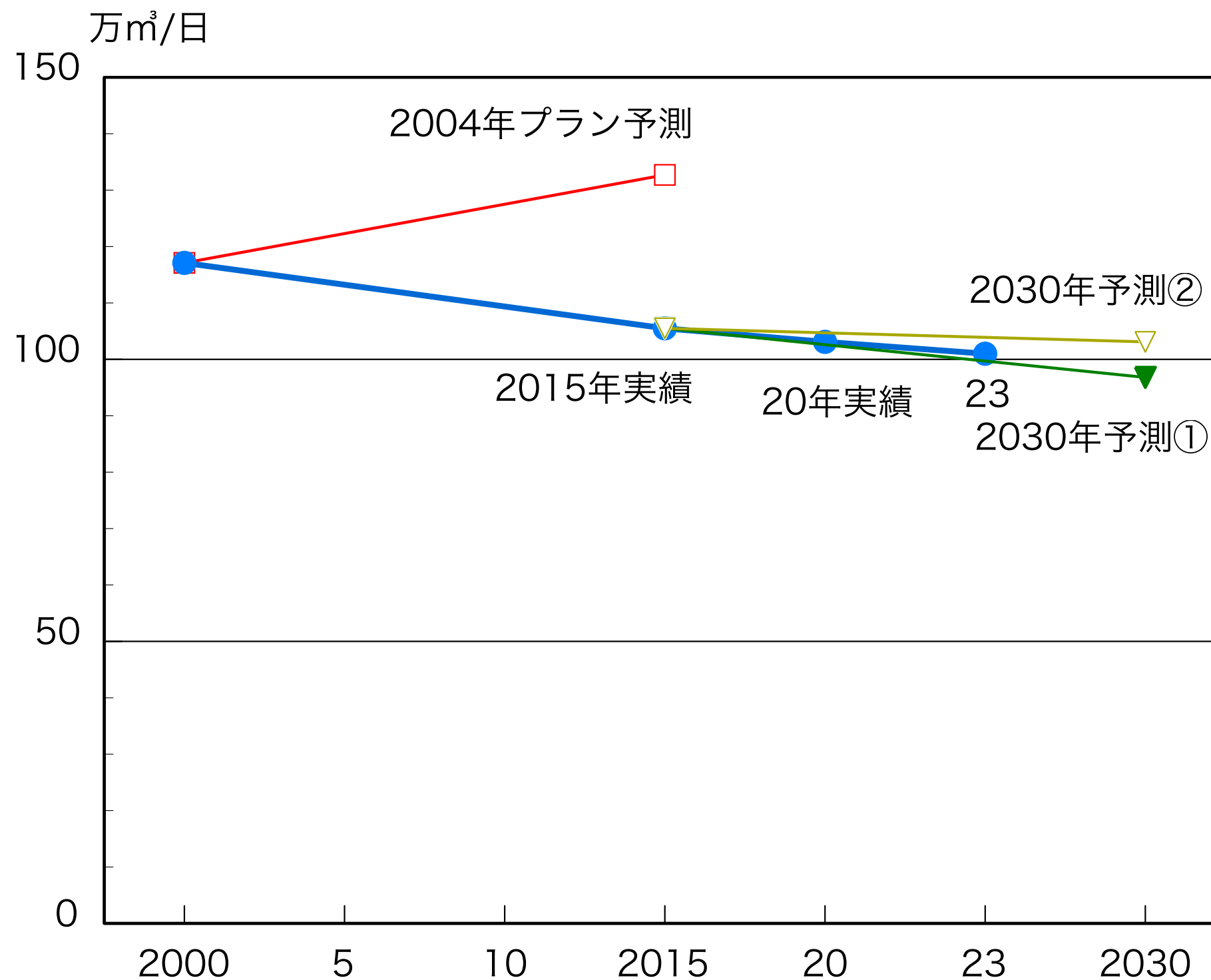
今後の給水人口については、令和5年12月に国立社会保障・人口問題研究所から公表された将来の推計人口に普及率98.0%（令和6年3月時点）を乗じて算定しておりますが、将来の推計人口は減少傾向にあることから、計画最終年度である令和16年度には339,202人となる見通しです。

有収水量については、一般家庭で使用する割合が全体の約80%を占めるため、給水人口の減少が見込まれることに伴い有収水量も減少が見込まれ、計画最終年度である令和16年度には約3,228万 m^3 となる見通しで、30年後の令和36年度には約2,488万 m^3 となる見通しです。



※給水人口は、国立社会保障・人口問題研究所の推計人口に普及率を乗じて算出した。

※有収水量は、令和6年度の有収水量に給水人口の減少率を乗じて算出した。ただし、人口減少の影響を受けない業種（宿泊施設、船舶）については、令和6年度水量と同量として見込んだ。



尾張地域の2004年予測と2015年実績の乖離，プルプランの未改訂
独自に2030年の予測（トレンド②，節水①），2023年実績まで
愛知県長良川河口堰最適運用検討委員会（富樫、加筆）

⑥ 業務・営業用水の推計結果



実績値		推計値	
年度	m ³ /日	年度	m ³ /日
H16	19,975	R6	21,304
H17	19,564	R7	21,409
H18	20,175	R8	21,513
H19	19,755	R9	21,617
H20	18,330	R10	21,748
H21	18,323	R11	21,852
H22	17,796	R12	21,955
H23	17,486	R13	22,058
H24	17,223	R14	22,161
H25	17,286	R15	22,263
H26	16,873	R16	22,366
H27	16,913	R17	22,468
H28	17,151	R18	22,571
H29	17,201	R19	22,673
H30	16,856	R20	22,774
R元	16,143	R21	22,877
R2	14,640	R22	22,978
R3	14,980	R23	23,080
R4	15,356	R24	23,182
R5	15,414	R25	23,274

実績値に対して、計画初年度の推計値が大きく増加していますが、これは過去実績に含まれていない「潜在的需要(リスク管理水量)」が含まれていることや、基地施設を「実績最大」等を採用したことによるものです。

そこを除くと、小口需要は過去実績の平均程度への回復に備えること、ハウステンボスが今後予定される施設投資を反映した増加傾向を見込んでいるため、全体として増加傾向を示しています。

アフターコロナで想定される社会情勢や大口需要者の個別の動向を反映した**妥当な推計結果と評価**します。

佐世保大湧水
H6年 8/1~H7年 3/5 (213日)
制限給水 (5時間/2日に給水)
9ヵ月間の自給率 約80%

H9年 中水槽の容量UP
夜間電力を利用し中水製造を可能

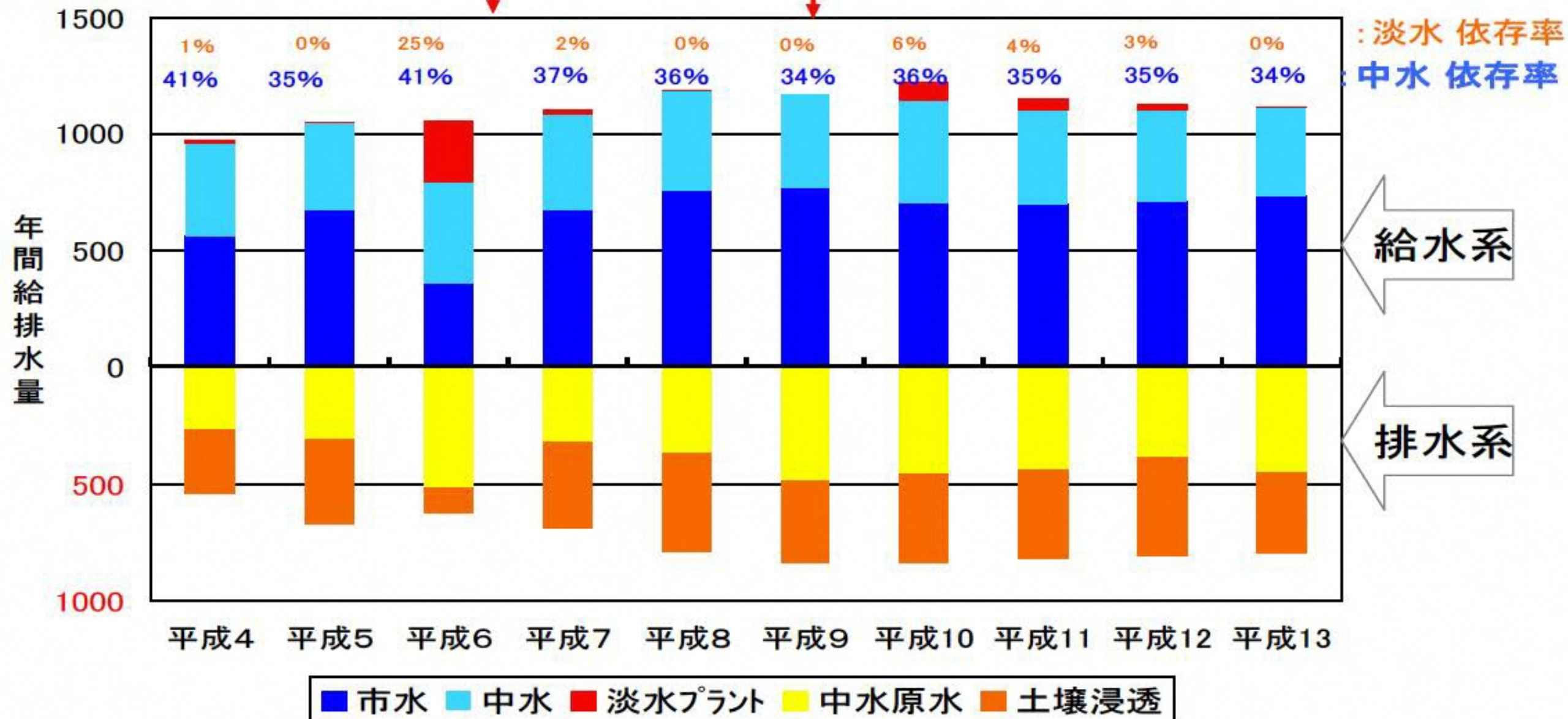


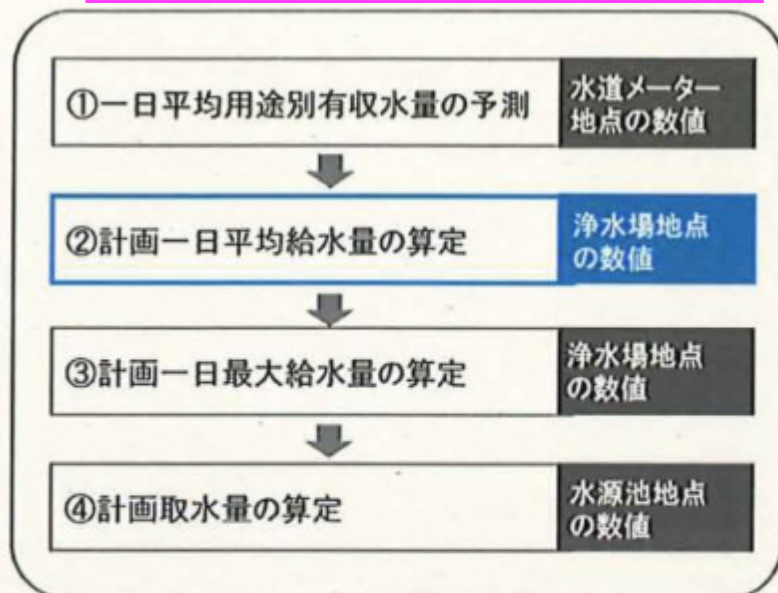
図6 ハウステンボスの環境インフラ 「水」の循環

資料：佐藤信孝（2009） 資源・エネルギーが 循環する環境インフラの形成-エコプレミアム
アイランドへの展開-, 第6回エコプレミアムクラブ・シンポジウム

http://www.grcj.jp/dcms_media/other/symposium06_pdf05.pdf

- ・ 前回(令和2年1月23日)資料では、ハウステンボスの有収量を535m³/日と推算していたが、今回の説明資料では、ハウステンボスが入場者数をコロナ前の実績に対して約8割増を目標としていることから、805m³/sと1.5倍の大幅増を推算している。
- ・ **ハウステンボス**は**中水道によるリサイクル**や、**井戸水による水源確保の努力**を行ってきた。リゾート施設の経営が、環境破壊を伴うダム建設を必要だとするのは、矛盾した経営のあり方である。
- ・ 説明資料では、**危機管理の観点から地下水利用を水道水に転換**するとしているが、水道施設設計基準にでは、「地下水から水道水への転換の可能性はあるが、実態を十分調査して検討する」ことになっている。しかし、緊急に地下水が汚染されて、営業用水の需要が増えることはありえない想定である。地下水汚染を防ぐ事前の対策こそが重要であり、発想が逆転している。
- ・ 上記のハウステンボスのようにコストを抑制する必要から、井戸水の開発が行われている場合もある。**地質的に地下水が佐世保市では得にくい**という説明も、ここでは不適切である。地下水は大規模震災時等の危機管理上で、複数の水源を確保の観点から適正に利用維持する必要性も高まっている。

(7) 計画一日平均給水量の推計



【一日平均給水量】

一日平均給水量は、有収水量を有収率で割り戻して算出します。

「有収率」… 給水量(浄水場から送り出した水量)のうち、料金徴収の対象となった水量(水道メーターを通過した水量)の割合。

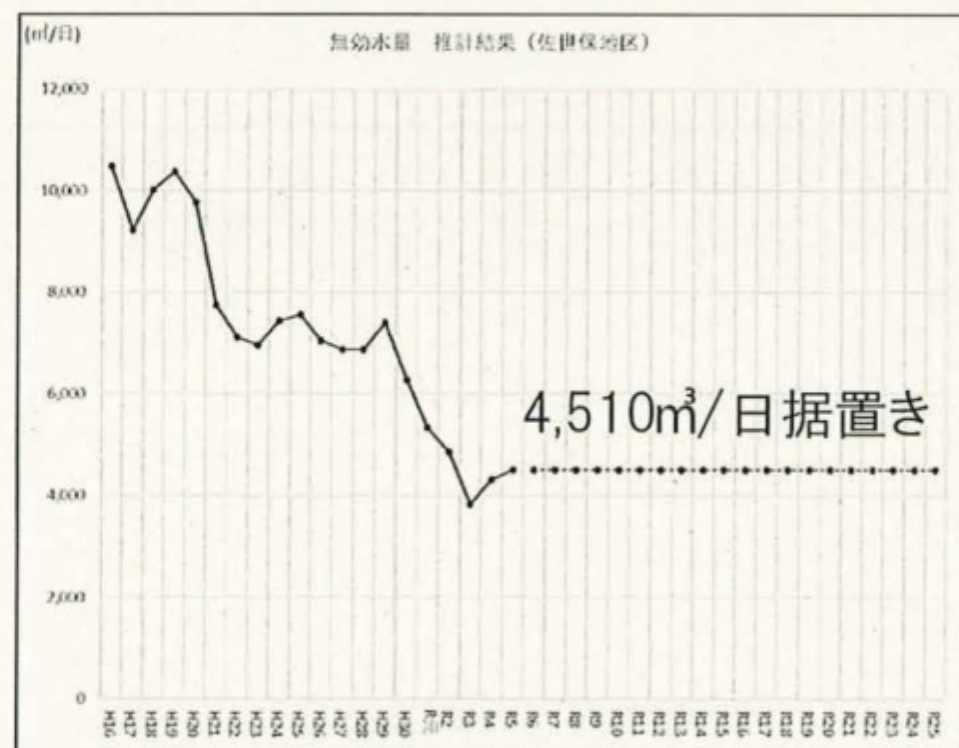
有収率は、有効率から有効無収率を控除して算出します。

「有効率」… 給水量のうち、有効に使用された水量の割合。水道事業者が使用する作業用水等の有効無収水量が含まれる。

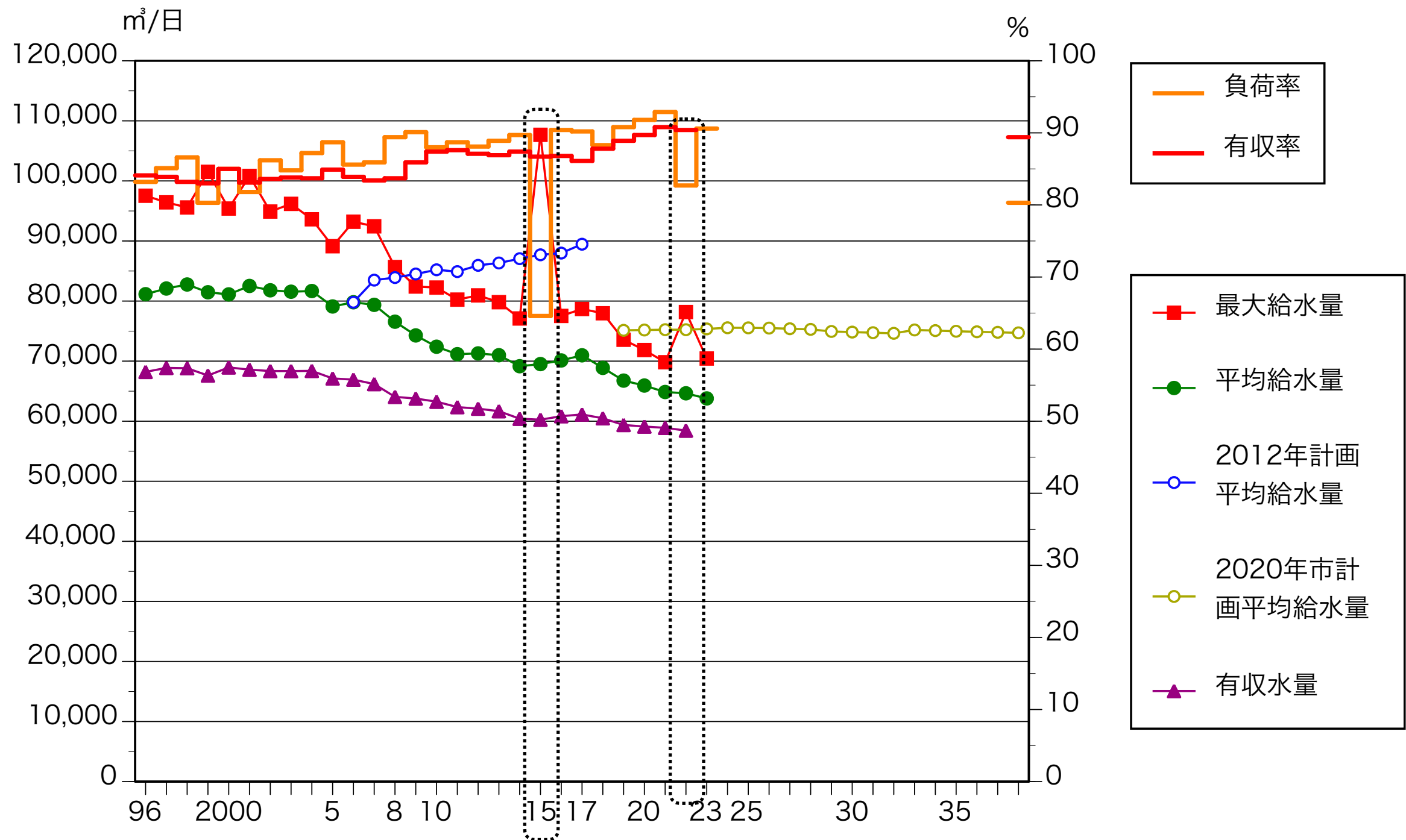
① 計画有効率の設定

本市では、今後の経営方針においては、費用負担の平準化を図るために「漏水量を維持」する方針としています。

そのため、漏水量(無効水量)については、直近実績値を据置き、推計した有収水量(前述)に基づき、有効率、有収率を算定します。



佐世保地区の給水量（2012年計画，市全体2020年計画），負荷率，有収率
 2020年計画では平均給水量を横ばいに，人口減少，原単位の上昇，負荷率を引き下げ



佐世保市水道施設整備事業再評価書（2020年），過去の統計，2012年計画
 有収率の2015年，負荷率の22年は**事故の影響（維持管理の方が大事！）**

2025年～43年の予測に対して再計算値 どの項目で、どの程度差があるのかを試算してみました

	2023年実績		2024年		2043年予測		再計算	差分	注釈
	市	佐世保地区	市	佐世保地区	市	佐世保地区			
総人口 (人)	234,504		231,955		201,767				
給水人口 (人)	230,527		203,103		190,974	189,976	189,976	0	推計値のまま
給水率 (%)									
生活用水 用水量 (m³/日)	45,623	40,784	45,189	40,784	41,034		37,995	-3,039	
原単位 (ℓ/人・日)	198					216	200	-16	200ℓで計算
業務営業用水量	16,825	15,414	16,809	21,304	23,274		15,414	-7,860	2023年、リスクを考慮せず
小口					11,437				
米軍					1,521				
自衛隊					1,203				
工業用	2,076	1,190	1,960	1,648	2,136		1,190	-946	2023年のまま、リスクを考慮せず
その他			72						
有収水量計	64,596	57,458	64,030	63,661	66,819		54,599	-12,220	
無収水量	4,510		4,510		4,510		4,285	-226	
有収率 有収水量/給水量 (%)			90.1			90.6	95.0	4.4	95%に引き上げると
1日平均給水量			70,656		73,752		57,473	-16,279	
負荷率 日平均/日最大	90.6					82.7	90.6	7.9	2023年実績
1日最大給水量			83,829		87,156		63,436	-23,720	

富樫：人口予測，生活用水原単位，有収率（管路の更新）の見直しが必要
給水量，営業収入の予測が狂うと，料金値上げをしても，すぐに赤字が拡大

佐世保地区の人口は23万人から19万人に、1人当たりの原単位を198ℓ/日から216ℓ/日に上昇、200ℓで再計算、3000m³/日の引き下げ、以下、同じ

業務営業用：1.7万m³/日から「リスクを考慮」して2.3万m³/日に、約8000m³/日の「みずまし」、2023年の実績、有収水量なので実際は料金収入は入らない

工業用：1,190m³/日から、「リスクを考慮」して2,136m³/日に、約1000m³/日の「みずまし」、

以上の合計で、有収水量は1.2万m³/日、かさ上げしている。営業用、生活用の差が大きい

年の日平均から日最大の負荷率を、90.6%から82.7%に操作。90.6%とすると、6.3万m³/日と8.7万m³/日で、約2.4万m³/日の大きな差がでる

給水量と有収水量から求める有収率は90.1%のまま、「漏水等を増やさない」、普通は管路の改善で引き上げていく。100%近くはムリでも95%で計算、岐阜市では全管路の耐震率を2018～23年で19→24%に引き上げ

ハウステンボス（中水道、井戸水を持つ）。造船所はそれぞれで対応、有収水量は増やさない（増えることはない）

石木ダムは多目的ダムのアロケーション：県と市の協議が必要です

資料：ダム等建設事業全体計画書 [川棚川総合開発事業 石木ダム建設事業，長崎県]

		河川	水道		
a	身替建設費	22,505	13,955		
b	妥当投資額	28,552	13,955	洪水調節12,565，流水正常機能15,987	
c	a,bいずれか小	22,505	13,955	共に過大，特に後者？（身替り建設費）	
d	専用費	0	0		
e	c-d	22,505	13,955	総建設費	
f	分離費用	14,545	5,995	20,540	28,500
g	残余便益（e-f）	7,960	7,960	15,920	
h	同上（％）	50.0	50.0	100.0	
i	残余共同費配分	3,980	3,980	7,960	
j	負担額（f+i）	18,525	9,975	28,500	
k	同上（％）	65.0	35.0	100.0	

利水，治水など複数の機能を持つ多目的ダムの費用便益分析とアロケーション（費用配分）は「分離費用・身替妥当支出法」によって行われてきた。1967年の改定（改悪）によって，本来の費用便益分析の役割が変質しているが，石木ダムの場合はそれに加えた問題点も抱えている。

「費用割振」の説明資料で「不特定」が新規の「水道」とともに，「利水容量」に区分されているのは誤りである。ダムの費用負担も国と長崎県（55：45）になるのであり，佐世保市の利水の「水道」ではない。「不特定容量」の説明が「既得用水の補給等流水の正常な機能の維持と増進」（「ダム等建設事業全体計画」）となっており，河川環境の保全（これが一定の流量の確保の理由）が抜け落ちているところにも，目的と計画の齟齬が見て取れる。既得用水は一般には農業用水のことが多く，灌漑の場合はこちらにも1/10の負担が伴う点についても見落とされている。

費用便益：2025年と2020年の再評価の比較

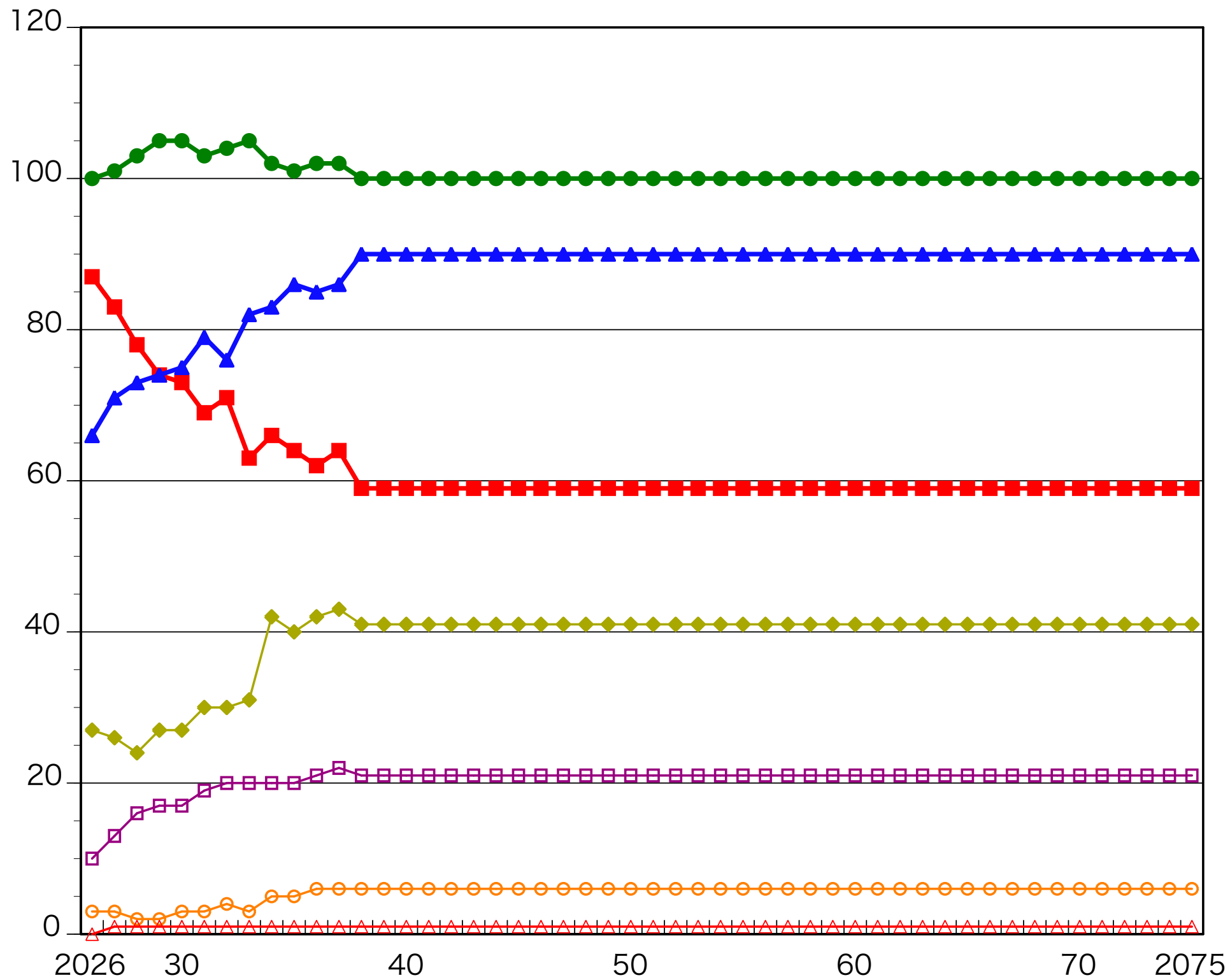
全事業費（石木ダムを含む）は2020年事業評価時の757億円から、2025年では1,061億円となっている。
「便益」とされる渇水被害（想定）額は4,096億円から5,868億円に1.43倍と非常に大きくなっている。結果として、便益/費用は5.41から5.53と同じ程度に膨らまされている。

	2025年再評価	2020年再評価		(比率)
生活用水	1,663	1,171	1.42	
業務/営業用水	3,383	2,519	1.34	(2020年内訳)
	-	1,731		営業停止損失が大きい部門 0.2248
	-	595		営業停止損失が小さい部門 0.7752
工場用水	822	406	2.02	
計	5,868	4,096	1.43	
全事業費	1,061	757		
B/C	5.53	5.41		

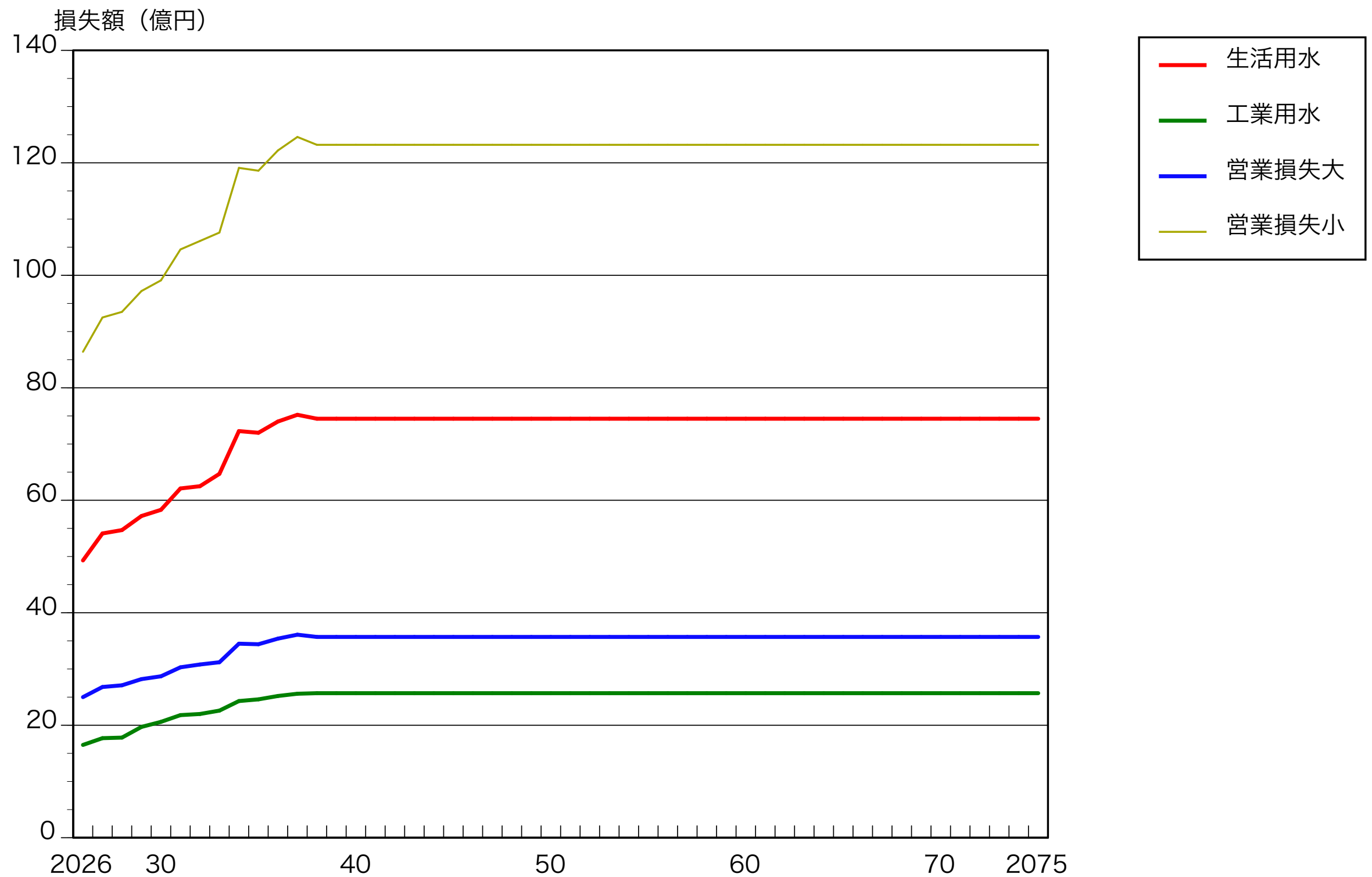
渇水被害額のねつ造

	給水人口	給水制限率5%			給水制限率10%			給水制限率15%			給水制限率20%			給水制限率25%			給水制限率30%			給水制限率35%			
	人	制限日数	被害額原単位	被害額	制限日数	被害額原単位	被害額	制限日数	被害額原単位	被害額	制限日数		被害額	制限日数	被害額原単位	被害額	制限日数	被害額原単位	被害額	制限日数	被害額原単位	被害額	
			(円/人/日)	(千円)		(円/人/日)	(千円)		(円/人/日)	(千円)			(千円)		(円/人/日)	(千円)		(円/人/日)	(千円)		(円/人/日)	(千円)	
2026	210,770	87	9.4	172,368	100	18.9	398,355	66	139.4	1,939,168	27	258.9	1,473,346	10	328.1	691,536	3	397.3	251,217	0	911.9	0	4,925,990
2027	210,496	83	9.4	164,229	101	18.9	401,816	71	139.4	2,083,363	26	258.9	1,416,933	13	328.1	897,829	3	397.3	250,890	1	911.9	191,951	5,407,011
2028	210,206	78	9.4	154,123	103	18.9	409,208	73	139.4	2,139,098	24	258.9	1,306,136	16	328.1	1,103,497	2	397.3	167,030	1	911.9	191,687	5,470,779
2029	209,913	74	9.4	146,015	105	18.9	416,572	74	139.4	2,165,379	27	258.9	1,467,355	17	328.1	1,170,832	2	397.3	166,797	1	911.9	191,420	5,724,369
2030	209,609	73	9.4	143,834	105	18.9	415,969	75	139.4	2,191,462	27	258.9	1,465,230	17	328.1	1,169,136	3	397.3	249,833	1	911.9	191,142	5,826,606
2031	209,063	69	9.4	135,598	103	18.9	406,983	79	139.4	2,302,327	30	258.9	1,623,792	19	328.1	1,303,278	3	397.3	249,182	1	911.9	190,645	6,211,805
2032	207,956	71	9.4	138,790	104	18.9	408,758	76	139.4	2,203,169	30	258.9	1,615,194	20	328.1	1,364,607	4	397.3	330,484	1	911.9	189,635	6,250,637
2033	210,854	63	9.4	124,868	105	18.9	418,440	82	139.4	2,410,230	31	258.9	1,692,293	20	328.1	1,383,624	3	397.3	251,317	1	911.9	192,278	6,473,049
2034	209,718	66	9.4	130,109	102	18.9	404,294	83	139.4	2,426,479	42	258.9	2,280,432	20	328.1	1,376,170	5	397.3	416,605	1	911.9	191,242	7,225,330
2035	209,696	64	9.4	126,153	101	18.9	400,289	86	139.4	2,513,920	40	258.9	2,171,612	20	328.1	1,376,025	5	397.3	416,561	1	911.9	191,222	7,195,781
2036	209,030	62	9.4	121,823	102	18.9	402,968	85	139.4	2,476,796	42	258.9	2,272,950	21	328.1	1,440,238	6	397.3	498,286	1	911.9	190,614	7,403,675
2037	207,996	64	9.4	125,130	102	18.9	400,975	86	139.4	2,493,539	43	258.9	2,315,557	22	328.1	1,501,357	6	397.3	495,821	1	911.9	189,672	7,522,051
2038	208,039	59	9.4	115,378	100	18.9	393,194	90	139.4	2,610,057	41	258.9	2,208,313	21	328.1	1,433,410	6	397.3	495,923	1	911.9	189,711	7,445,986
2039	208,039	59	9.4	115,378	100	18.9	393,194	90	139.4	2,610,057	41	258.9	2,208,313	21	328.1	1,433,410	6	397.3	495,923	1	911.9	189,711	7,445,986
2040	208,039	59	9.4	115,378	100	18.9	393,194	90	139.4	2,610,057	41	258.9	2,208,313	21	328.1	1,433,410	6	397.3	495,923	1	911.9	189,711	7,445,986
2041	208,039	59	9.4	115,378	100	18.9	393,194	90	139.4	2,610,057	41	258.9	2,208,313	21	328.1	1,433,410	6	397.3	495,923	1	911.9	189,711	7,445,986
2042	208,039	59	9.4	115,378	100	18.9	393,194	90	139.4	2,610,057	41	258.9	2,208,313	21	328.1	1,433,410	6	397.3	495,923	1	911.9	189,711	7,445,986
2043	208,039	59	9.4	115,378	100	18.9	393,194	90	139.4	2,610,057	41	258.9	2,208,313	21	328.1	1,433,410	6	397.3	495,923	1	911.9	189,711	7,445,986
2044	208,039	59	9.4	115,378	100	18.9	393,194	90	139.4	2,610,057	41	258.9	2,208,313	21	328.1	1,433,410	6	397.3	495,923	1	911.9	189,711	7,445,986
2045	208,039	59	9.4	115,378	100	18.9	393,194	90	139.4	2,610,057	41	258.9	2,208,313	21	328.1	1,433,410	6	397.3	495,923	1	911.9	189,711	7,445,986
2046	208,039	59	9.4	115,378	100	18.9	393,194	90	139.4	2,610,057	41	258.9	2,208,313	21	328.1	1,433,410	6	397.3	495,923	1	911.9	189,711	7,445,986
2047	208,039	59	9.4	115,378	100	18.9	393,194	90	139.4	2,610,057	41	258.9	2,208,313	21	328.1	1,433,410	6	397.3	495,923	1	911.9	189,711	7,445,986
2048	208,039	59	9.4	115,378	100	18.9	393,194	90	139.4	2,610,057	41	258.9	2,208,313	21	328.1	1,433,410	6	397.3	495,923	1	911.9	189,711	7,445,986
2049	208,039	59	9.4	115,378	100	18.9	393,194	90	139.4	2,610,057	41	258.9	2,208,313	21	328.1	1,433,410	6	397.3	495,923	1	911.9	189,711	7,445,986
2050	208,039	59	9.4	115,378	100	18.9	393,194	90	139.4	2,610,057	41	258.9	2,208,313	21	328.1	1,433,410	6	397.3	495,923	1	911.9	189,711	7,445,986
2051	208,039	59	9.4	115,378	100	18.9	393,194	90	139.4	2,610,057	41	258.9	2,208,313	21	328.1	1,433,410	6	397.3	495,923	1	911.9	189,711	7,445,986
2052	208,039	59	9.4	115,378	100	18.9	393,194	90	139.4	2,610,057	41	258.9	2,208,313	21	328.1	1,433,410	6	397.3	495,923	1	911.9	189,711	7,445,986
2053	208,039	59	9.4	115,378	100	18.9	393,194	90	139.4	2,610,057	41	258.9	2,208,313	21	328.1	1,433,410	6	397.3	495,923	1	911.9	189,711	7,445,986
2054	208,039	59	9.4	115,378	100	18.9	393,194	90	139.4	2,610,057	41	258.9	2,208,313	21	328.1	1,433,410	6	397.3	495,923	1	911.9	189,711	7,445,986
2055	208,039	59	9.4	115,378	100	18.9	393,194	90	139.4	2,610,057	41	258.9	2,208,313	21	328.1	1,433,410	6	397.3	495,923	1	911.9	189,711	7,445,986
2056	208,039	59	9.4	115,378	100	18.9	393,194	90	139.4	2,610,057	41	258.9	2,208,313	21	328.1	1,433,410	6	397.3	495,923	1	911.9	189,711	7,445,986
2057	208,039	59	9.4	115,378	100	18.9	393,194	90	139.4	2,610,057	41	258.9	2,208,313	21	328.1	1,433,410	6	397.3	495,923	1	911.9	189,711	7,445,986
2058	208,039	59	9.4	115,378	100	18.9	393,194	90	139.4	2,610,057	41	258.9	2,208,313	21	328.1	1,433,410	6	397.3	495,923	1	911.9	189,711	7,445,986
2059	208,039	59	9.4	115,378	100	18.9	393,194	90	139.4	2,610,057	41	258.9	2,208,313	21	328.1	1,433,410	6	397.3	495,923	1	911.9	189,711	7,445,986
2060	208,039	59	9.4	115,378	100	18.9	393,194	90	139.4	2,610,057	41	258.9	2,208,313	21	328.1	1,433,410	6	397.3	495,923	1	911.9	189,711	7,445,986
2061	208,039	59	9.4	115,378	100	18.9	393,194	90	139.4	2,610,057	41	258.9	2,208,313	21	328.1	1,433,410	6	397.3	495,923	1	911.9	189,711	7,445,986
2062	208,039	59	9.4	115,378	100	18.9	393,194	90	139.4	2,610,057	41	258.9	2,208,313	21	328.1	1,433,410	6	397.3	495,923	1	911.9	189,711	7,445,986
2063	208,039	59	9.4	115,378	100	18.9	393,194	90	139.4	2,610,057	41	258.9	2,208,313	21	328.1	1,433,410	6	397.3	495,923	1	911.9	189,711	7,445,986
2064	208,039	59	9.4	115,378	100	18.9	393,194	90	139.4	2,610,057	41	258.9	2,208,313	21	328.1	1,433,410	6	397.3	495,923	1	911.9	189,711	7,445,986
2065	208,039	59	9.4	115,378	100	18.9	393,194	90	139.4	2,610,057	41	258.9	2,208,313	21	328.1	1,433,410	6	397.3	495,923	1	911.9	189,711	7,445,986
2066	208,039	59	9.4	115,378	100	18.9	393,194	90	139.4	2,610,057	41	258.9	2,208,313	21	328.1	1,433,410	6	397.3	495,923	1	911.9	189,711	7,445,986
2067	208,039	59	9.4	115,378	100	18.9	393,194	90	139.4	2,610,057	41	258.9	2,208,313	21	328.1	1,433,410	6	397.3	495,923	1	911.9	189,711	7,445,986
2068	208,039	59	9.4	115,378	100	18.9	393,194	90	139.4	2,610,057	41	258.9	2,208,313	21	328.1	1,433,410	6	397.3	495,923	1	911.9	189,711	7,445,986
2069	208,039	59	9.4	115,378	100	18.9	393,194	90	139.4	2,610,057	41	258.9	2,208,313	21	328.1	1,433,410	6	397.3	495,923	1	911.9	189,711	7,445,986
2070	208,039	59	9.4	115,378	100	18.9	393,194	90	139.4	2,610,057	41	258.9	2,208,313	21	328.1	1,433,410	6	397.3	495,923	1	911.9	189,711	7,445,986
2071	208,039	59	9.4	115,378	100	18.9	393,194	90	139.4	2,610,057	41	258.9	2,208,313	21	328.1	1,433,410	6	397.3	495,923	1	911.9	189,711	7,445,986
2072	208,039	59	9.4	115,378	100	18.9	393,194	90	139.4	2,610,057	41	258.9	2,208,313	21	328.1	1,433,410	6	397.3	495,923	1	911.9	189,711	7,445,986
2073	208,039	59	9.4	115,378	100	18.9	393,194	90	139.4	2,610,057	41	258.9	2,208,313	21									

渇水被害額の誤り：渇水による制限率と日数



ありえない渇水による損失額を便益にしている



淡水補給水量では、1993年の3,718m³/日から94年の3,323m³/日、95年は、2,651m³/日に減少し、96年は3,094m³/日に回復している。一方、出荷額は93～94年は3.9%と増加しており、渇水の影響はみられない。つまり一時的な断水と、工業生産は無関係だったことになる。（3）における渇水の被害から便益を求める方式は、水道の節水率から生産への影響、つまり渇水被害を算出することは現実に反している。

	工業出荷額（億円）	同，対前年比	淡水補給水量（m ³ /日）	同，対前年比
1992	1,732			
1993	1,610	-7.1	3,718	
1994	1,673	3.9	3,323	-10.6
1995	1,571	-6.1	2,651	-20.2
1996	1,578	0.4	3,094	16.7

商業に限ってみると、3年間隔の商業統計調査では、卸売業では年間販売額が1991/94年に3,992億円から3,982億円、-0.3%でほとんど変わっておらず、小売業では2,560億円から2,747億円と7.3%の増加になっている。ここでも94年の渇水の影響はみられない。

	卸売業				小売業			
	商店数	従業者数	年間販売額	同，対前回比	商店数	従業者数	年間販売額	同，対前回比
1991	985	8,962	3,992		3,549	15,461	2,560	
1994	844	8,652	3,982	-0.3	3,332	16,333	2,747	7.3
1997	794	7,998	3,886	-2.4	2,937	14,599	2,648	-3.6

令和 8 年 4 月から 水道料金が上がります

斜面都市の本市は、全国最多水準の水道施設数を抱えています。人口減少が進む中で、施設の維持管理や更新を行いながら、将来に渡り安全・安心な水を安定的にお届けするために、令和 8 年 4 月から水道料金を値上げします。

今回の特集では、“なぜ料金改定が必要なのか”その背景や理由、新しい料金等についてお知らせします。

令和 8 年 4 月以降の新料金

令和 8 年度
(2026 年度)

改定率
+17.5%

+260 円
(消費税抜き)

令和 9 年度
(2027 年度)

改定率
+22.5%

+334 円
(消費税抜き)

令和 10 年度～
(2028 年度～)

改定率
+27.5%

+408 円
(消費税抜き)

※本市水道の利用者のうち、約半数を占める 1 カ月あたり 10m³使用の場合。

※今回の料金改定で下水道使用料に影響はありません。